議会だより

KIJO

令和4年12月議会
No.139
発行所：宮崎県木城町議会
発行日：令和5年1月17日
印　刷：有限会社 ふくしげ印刷



二十歳のつどい







◆ 臨時会報告 …… 3
◆ 定例会報告 …… 4
◆ 議会活動報告 …… 5
◆ 一般質問(3名登壇) …… 7
◆ 木城っ子の活動写真 …… 10
◆ まちの話題 …… 12

あけましておめでとうございます
本年もどうぞよろしくお願いいたします





議長
中武良雄

新年、あけましておめでとうございます。

日頃から議会に対し、ご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年はコロナ禍の中、ロシア軍によるウクライナ侵攻に始まり、安倍元総理の銃撃事件、旧統一教会問題など、様々な出来事がありましたが、私たちに最も身近に感じられるのが物価高騰ではないかと思っております。国と地方が連携し各種対策を講じ、早期経済回復の実現を望む次第であります。

本町議会においては、公民館長様を対象に「議会報告会」を6年ぶりに実施することができました。貴重なご意見ありがとうございました。今後も随時各種団体等との意見交換会を実施したいと考えております。また、現在、議会基本条例並びに議会の個人情報保護条例の検討を進めており、次回の定例会までには議案を提出したいと考えております。

今年4月には、いよいよ義務教育学校が開校いたします。また、県議会議員選挙、統一地方選挙が実施されます。現在、地方議員のなり手不足の問題が叫ばれていますが、若年層にも興味を持っていただけるような魅力ある議会にしていきたいと思います。

今年一年、皆様のご多幸とご繁栄、並びに木城町の発展をご祈念しますとともに、今後も木城町議会への一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、議会を代表してのあいさつとさせていただきます。

第8回　臨時会

令和4年第8回臨時会は、10月17日の1日間の会期で開催され、台風14号による災害復旧関連経費、新型コロナウイルス感染症予防関連経費、原油価格や物価高騰などの緊急対策事業に係る補正予算1議案を審議し、全員賛成により可決しました。

物価高等緊急支援給付金（個人）
全世帯に対し、
1人当たり30,000円の給付を決定

物価高等緊急支援給付金
（農林業、商工業者など）
従業員数等に応じて、定額の給付を決定

第9回　臨時会

令和4年第9回臨時会は、11月14日の1日間の会期で開催され、電力代高騰による小学校及び中学校の光熱水費（電気料）の増額、義務教育学校校舎建設工事に伴う資材及び燃料費等の急激な高騰により、受注者側からの工事契約約款のスライド条項による単価見直しの要望に対応するため、請負代金の変更に係る補正予算1議案を審議し、全員賛成により可決しました。


建設中の義務教育学校

第10回　臨時会

令和4年第10回臨時会は、11月29日の1日間の会期で開催され、人事院勧告に伴う一般職の職員、常勤の特別職、議会議員の期末手当を、0・1月分増額等するための条例3議案及び補正予算5議案、町民が利用するマイナポータルサービスと町が現在利用している住民情報システムを連携するサーバ機器一式とそのデータを変換する申請管理システム機器一式の購入契約をするための財産の取得について1議案、第9回臨時会で議決された義務教育学校校舎建設工事に伴う物価高騰による工事請負代金の変更契約（約7532万円増額）1議案を審議し、全員賛成により可決しました。



◆全員賛成で可決した議案等

第8回	令和4年度木城町一般会計補正予算（第4号）
第9回	令和4年度木城町一般会計補正予算（第5号）
第10回	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	令和4年度木城町一般会計補正予算（第6号）
	令和4年度木城町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
	令和4年度木城町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）
	令和4年度木城町下水道事業特別会計補正予算（第3号）
	令和4年度木城町介護保険特別会計補正予算（第2号）
	財産の取得について
	工事請負変更契約について

第11回　定例会

令和4年第11回定例会は、12月9日から7日間の会期で開催され、令和4年度一般会計補正予算など町長より提案されました10議案を可決、同意しました。

◆全員賛成で可決・同意した議案

◇木城町公営企業の設置等に関する条例の制定について
◇義務教育学校の設置に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
◇木城町簡易水道財政調整基金の設置・管理及び処分に関する条例及び木城町下水道事業財政調整基金条例を廃止する条例の制定について
◇令和４年度木城町一般会計補正予算（第７号）
◇令和４年度木城町国民健康保険事業特別会計補正予算（第４号）
◇令和４年度木城町簡易水道事業特別会計補正予算（第４号）
◇令和４年度木城町下水道事業特別会計補正予算（第４号）
◇令和４年度木城町介護保険特別会計補正予算（第３号）
◇令和４年度木城町後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）
◇教育委員会委員の任命について

総務常任委員会審査報告

【補正予算・歳出】（万円未満切り捨て）

〔債務負担行為〕

（総務財政課）

◎庁舎電気代増額　**（184万円）**

電気代がかなり上がっており、実績と今後の見込を考慮し増額するもの。

◎庁舎1階防火シャッター修繕工事　**（59万円）**

問　**防火シャッターの場所は。**

答　階段をつたって炎や煙が上がっていく。それを防ぐために、壁に設置してある。

【国民健康保険事業特別会計補正予算】

（町民課）

◎出産育児一時金（84万円）

◎葬祭費　**（15万円）**

出産育児一時金（1人当たり42万円）を2人分、葬祭費（1人当たり3万円）を5人分追加するもの。

問　**出産一時金及び葬祭費について、合計でどの程度予定しているのか。**

答　出産育児一時金は、現在4名分支出しているため6名分となる。葬祭費は、14名中12名分を支出しており、合計で19名分となる。

（福祉保健課）

◎骨髄ドナー奨励金事業　**（28万円）**

県内で7市町が実施。提供者本人に対し2万円の最長7日分、その方が勤める事業者（ただし、休業補償制度対象外）に対し2万円の最長7日分の奨励金を支給する。

◎帯状疱疹任意予防接種助成事業　**（200万円）**

帯状疱疹が急増しているなか、1万円（助成上限額）の2回接種分を令和4年4月に遡って助成する。

問　**対象年齢は。**

答　50歳以上が対象。不活化ワクチンの免疫効果が概ね9年以上、生ワクチンの免疫効果が概ね5～8年と言われているため、1回限りで考えている。

産業文教常任委員会審査報告

【条例】3件

（環境整備課）

◎木城町公営企業の設置等に関する条例の制定について

総務省から、住民生活に密着したサービスである簡易水道事業及び下水道事業について、平成31年度から令和5年度までの5年間で公営企業会計へ移行するよう重点的な取り組みが要請されているなか、本町においては、簡易水道事業及び下水道事業の各特別会計について、令和5年4月1日から地方公営企業法の一部を適用し公営企業会計に移行し、将来にわたる安定的なサービスを提供することを目的としている。

問　**将来的には、住民の負担はあるのか。**

答　公営企業の設置による料金の値上げはすぐにはないが、令和2年度に料金の改定を行っており、5年後の令和7年度に向け経営戦略を立てて、料金審議会を開催し検討していきたいと考えている。

◎木城町簡易水道財政調整基金の設置・管理及び処分に関する条例及び木城町下水道事業財政調整基金条例を廃止する条例の制定について

公営企業会計として運営することに伴い、年度当初などに資金不足が生じることがないよう預金として運用し経営の安定を図るため、条例を廃止するもの。

（教育課）

◎義務教育学校の設置に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

令和5年4月の義務教育学校の開校（設置）に伴い、学校名など、木城町立学校設置条例をはじめとした関係条例の改正を行うもの。

定例会報告

【補正予算・歳出】
（万円未満切り捨て）

（教育課）
◎図書購入費（100万円）
100万円の寄付があり、小・中学校の図書購入費に各々50万円を計上するもの。

（環境整備課）
◎災害復旧費 工事請負費増額（1億7000万円）
台風14号に伴う災害復旧費。町内4ヶ所分。


打越中之又線

（産業振興課）
◎施設・露地作物生産技術強化支援事業補助金増額（70万円）
春作分の生分解性マルチの補助金不足分を補うもの。

（まちづくり推進課）
◎中小企業利子補給補助金（202万円）
◎川原自然公園盛土設計業務委託（393万円）

教育委員会委員の任命について【同意】


金永（かねなが） 俊一（しゅんいち）氏

任期は、令和4年12月27日から令和8年12月26日までの4年間。

産業文教常任委員会所管事務調査

■期日
令和3年11月11日（木）
12月15日（水）
令和4年4月25日（月）
5月30日（月）
7月7日（木）
8月24日（水）～
8月27日（土）

■研修事項
①J―クレジット創出・活用事業
②バイオマス発電事業
③高レベル放射性廃棄物最終処分事業

■参加者
眞鍋博委員長、後藤和実副委員長、神田直人委員、甲斐政治委員、森伸夫委員、藤井学事務局長、池田真那海書記

■研修目的
町の活性化、過疎化対策、地域資源の活用、カーボンニュートラルの実現に向けての調査

①J―クレジット創出・活用事業

J―クレジットとは、省エネルギー設備導入や再生可能エネルギー利用によるCO_2排出削減量、適切な森林管理によるCO_2吸収増加量をクレジットとして国が認証するもので、森林経営活動と植林活動の方法がある。

【考察】
本町の森林資源を有効に活用しカーボンニュートラルの実現に向けての取り組みにも繋がる事業であり、九州電力（株）の試算では、年間約50万円の収入であるが、気候変動適応に向けた地域政策が求められる今、カーボンニュートラルの実現への取り組みの一つとして十分に取り組む価値があると考えられる。


九州電力㈱との勉強会

②バイオマス発電事業

バイオマス発電事業とは、動植物等の生物から作り出される有機性のエネルギー資源で、そのエネルギー源を燃焼したり、あるいは一度ガス化して燃焼させ発電し活用していく事業である。木質バイオマス発電事業の勉強会、川南町のみやざきバイオマスリサイクル（株）、（株）宮崎森林発電所の視察を行った。

【考察】
本町の森林資源と台風時の倒木等の処理や防災面の観点から、木質バイオマスを利用した発電事業が望ましいと考えるが、施設建設費用、安定的な木質バイオマス燃料の確保が課題のなか、本町では、ハウス栽培や温泉の熱源に利用できる小規模発電所が有効と考えられる。また、林業分野への就労支援などにも積極的に取り組んでいく必要もあると考えられる。


㈱宮崎森林発電所

③高レベル放射性廃棄物最終処分事業

原子力発電で使い終えた燃料は、再処理工場で再利用できるウランとプルトニウムを取り出している。その過程で残る放射能の高い廃液は、高温のガラスと溶かし合わせステンレス製容器に流し込んで固めたガラス固化体をオーバーパックという熱い金属製容器に格納し、さらに緩衝材となる粘土で包んだ状態で地表300m以上深い安定した岩盤に埋設する。高レベル放射性廃棄物を地層処分することは、地上で保管を続けるよりも、安全上のリスクを小さくし、かつ、将来世代への負担を少なくすることができる。青森県六ケ所村の日本原燃（株）の視察、六ケ所村議会議員との意見交換会を行った。

【考察】
現在、高レベル放射性廃棄物は青森県六ケ所村に50年間一時貯蔵されることが決まっており、既に27年が経過している。日本において原子力発電は脱炭素カーボンニュートラルに整合性があり、風力発電などとは異なり安定した電力供給ができるが、稼働を続ければ必ず廃棄物が発生する。日本国民が電気を使い続ける以上、この問

議会活動報告

議会活動報告

10月


青森県六ケ所村議会議員との意見交換会

題から目を背けることはできない。安全性や必要性を多くの方が理解し議論を進めるべきと考える。

7日
・議会広報編集特別委員会
11日
・新田原基地周辺協議会九州防衛局要望活動（議長）
12日
・議会運営委員会
13～14日
・児湯郡（市）町村議会議長会議長・事務局長行政調査（議長）
17日
・第８回木城町議会臨時会
・木城町商工会要望活動（議長）
19日
・第２０５回宮崎政経懇話会児湯・西都地区例会（議長）
・東児湯消防組合現金出納検査（議長）
24日
・被爆77周年・原水禁九州縦断平和行進東児湯地区労組来庁（議長）
28日
・宮崎県町村議会議長会臨時総会・議員大会


議員大会

・みどりの杜木城学園校歌制作記念コンサート（議長・産業文教常任委員長）
31日
・議会運営委員会先進地調査研修（動画配信）

11月

1日
・議会全員協議会
・木城町シルバー人材センター要望活動（議長）
6日
・第26回ＭＴＢ４時間耐久in木城（議長）
7日
・第81回国民スポーツ大会木城町準備委員会設立発起人会（議長）
8日
・令和４年度「世界を目指す県産品開発事例講演会」
・県選出国会議員、農林水産省表敬訪問（議長）
9～10日
・町村議会議長全国大会（議長）
11日
・議会運営委員会
・議会広報編集特別委員会調査研修


高千穂町での研修

12日
・令和４年度木城町民文化祭「生涯学習のつどい大会」（議長）
13日
・木城町文化協会芸能発表会（議長）
14日
・第９回木城町議会臨時会
15日
・宮崎県町村議会議長会幹部議員研修会（正副議長・議会運営委員長・各常任委員長）
18日
・宮崎県建築協会要望活動（議長）
20日
・高鍋高校ラグビー部全国大会出場祝勝会・特別後援会活動発会式（議長）
22日
・児湯郡（市）町村議会議長会定例会（議長）
25日
・議会運営委員会
26日
・第47回木城町女性のつどい大会（議長）
27日
・木城町防災フェス
29日
・議会運営委員会
・第10回木城町議会臨時会
・第２０６回宮崎政経懇話会児湯・西都地区例会（議長）
30日
・宮崎県町村議会議長会広報研修会（議会広報編集特別委員長）

12月

3日
・第13回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会木城町選手団壮行会（議長）
5日
・議会運営委員会
・議会全員協議会
・竹鳩橋等整備促進期成同盟会（議長）
9～15日
・第11回木城町議会定例会
20日
・議会広報編集特別委員会
21日
・木城町・都農町・川南町議会議員合同研修会
26日
・第３回西都児湯環境整備事務組合議会定例会（議長・総務常任委員長）
・第３回一ツ瀬川営農飲雑用水広域水道企業団議会定例会（議長）
27日
・東児湯消防組合議会定例会（議長・総務常任委員長）
・高鍋・木城衛生組合議会定例会（副議長・総務常任委員長・議選監査）
28日
・議会広報編集特別委員会



甲斐（かい） 政治（まさはる） 議員

企業誘致の目標未達成と今後の取り組み

答 IT・ICT関係誘致に取り組む

問　1期4年間で2社の企業誘致の目標の実績は無いようだが。

答　町長

目標に向け努力した。税収、雇用、定住に寄与する企業誘致だが、町内には5社あり、各社創意工夫と独創的な事業を展開されている。本町には工業団地がなく面積要件で話がまとまらないのが大きな原因。

問　本町で確保できる面積はどれ程あるのか。

答　まちづくり推進課長

岸立団地横の1ヘクタール位しかない。

問　現状の面積でも来る企業はあるのではないか。水道料、電気料の補助とか、誘致のための環境整備が足りないのでは。

答　町長

企業誘致するには、受け入れる器が必要で大きな雇用の製造業等は面積要件では無理がある。小学校の空き教室にＩＴ・ＩＣＴ関係の企業誘致に力を入れたい。

問　キヤノン跡地を取得した（株）山﨑紙源センターの業態はどうなっているのか。

答　町長

社長、会長と会談したが、現状の情勢では検討中である。条件が合えば誘致企業として支援したいと伝えた。

問　動静によっては、（株）山﨑紙源センターより土地の買戻しをしたらどうか。

答　町長

情報開示できない部分もあるが、国内では初の事業で産学官でコラボして先駆的な事業展開をされるそうである。長い目で事業展開を注視したい。

問　まちづくり推進課はイベントやふるさと納税等で多忙な課なので、企業誘致の専門官を配置したらどうか。

答　町長

県内で配置しているのは串間市だけで、必要性はあると思う。本町の特性を考え税収の確保、雇用の場、定住の取り組み、地域経済の活性化が企業誘致の目的である。総務省の地域活性化起業人制度を活用して、本町の足りない部分をカバーするようなことを検討したい。

問　２０５０年のカーボンニュートラルに関し、本町における農林業分野での二酸化炭素削減の具体的な対策はあるのか。

答　町長

県内でもいち早く木城町ゼロカーボンシティ宣言をした。今年度中に、町民課で木城町カーボンニュートラル計画の策定を目指している。

答　産業振興課長

現段階では、国が推す有機農業、スマート農業の支援で二酸化炭素削減の具体的対策はない。間接的な取り組みは、生分解マルチやスマート農業機器の助成を行っている。

問　森林面積の多い本町での二酸化炭素削減の取り組みとＪ-クレジットについての考えは。

答　町長

森林活用と二酸化炭素吸収を全て否定することはないが、83％が国有林で町有林が少ない。伐採、植林の循環型の整備が有効である。

問　森林伐採には面積により届出があり、植林も義務付けされているが、所有者も高齢化で実行されていない所もあり、河川の汚濁にも繋がる。指導はされているのか。

答　町長

木は切ったら植える循環型でなければいけない。森林環境譲与税を使って、森林整備、植林を進めたい。伐採後については、担当課を通じ循環型体制を指導したい。

問　現在の肥料高騰やカーボンニュートラルの両方に効果のある有機堆肥工場の設置に高鍋・木城有機農業推進協議会での協議はないか。

答　町長

協議会での話はないが、堆肥工場についてはしっかりと考えたい。



くわはら かつひろ 桑原 勝広 議員

人がつながる仕組みと、町民側の受け皿を作るべきではないか

答 町民が、問題を自分の事として解決していく方法を考えていく

解体しない小学校の校舎の利用方法は

問 小学校の南側の校舎を残しＩＴ関係を検討していると言われているが決まったのか。

答 町長

一番南側の管理棟をどう利活用していくか木城町公共施設検討委員会と検討を重ねている。例えば、福祉避難所、ＩＣＴ関連事業所、教育関連施設等。短期的には、老朽化した椎木児童館の代替施設として使う方法もある。学校周辺の公園整備等の要望も出ているので、総合的に考えている。

問 行政主導で行うのではなく、利用する町民を巻き込んで決めた方が責任も出てくるし利用価値も上がるのでは。

答 町長

学校の利活用については、行政需要としてここだけは押さえていきたいというのはあるが、意見を頂きながら利活用を進めていきたい。

学校周りの公園整備は

問 公園は町長の公約であるが、利用する人たちと一緒に計画すべきと考えるが。

答 町長

校舎周りの公園整備は、南九州大学との包括連携の中で、ワークショップ等を通じやっていく。主体は、南九州大学なので、その中でいろんな意見を聞かれるものだと思う。

【意見】 公園設置を求める署名活動で760名が要望している。椎木地区には新学校を中心とした公園、高城地区には旧江藤病院跡地を中心とした公園の要望あり。町民も感心をもっている。町民が納得できるものを町民を交えて作ってほしい。

共助（協働）の考えをどう町民に伝え、浸透させるかが問題

問 「住む町のことは、住民の人が決めませんか」という考え方で、住民自ら考え、結論も自分たちで出す。責任を持つことになり、前向きに問題に関わる事になる。人が繋がる仕組みを作り問題解決するという手法を取り入れ、町民側の受け皿を作るべきではないか。

答 町長

町制50周年記念事業で取り組んでいる手法がフューチャーデザインという方法。物事をあくまでも自分のこととして解決していき、いろんな情報を共有して、しっかりと繋げていく事です。主役は、町民である。そのための意見収集は、いろんな方法をとっていく。

【意見】 町民が自由に意見を言える場を設け、町民の意識改革を行えば木城町は変われる。

本町の有機農業について

問 有機ＪＡＳ認定機関の状況、認定を希望する農家へ助成等働きかけは。

答 町長

12月5日に有機農産物、有機加工食品の認証登録団体になり、沖縄県を除く九州全域及び山口県まで対象区域になる。認証機関の手数料、受験手数料について助成を検討していく。町内でも有機栽培の団体を作ってもらい研修・情報交換をやって頂きたい。いろんな意見とか、提言があれば前向きに検討していく。

有機のさとづくり事業について

問 （一社）フードトラストプロジェクトとの協定書の中に石河内における有機のさとづくり事業に関する事項があるが、石河内地区を『有機のさと』に位置付けでいいのか。

答 町長

石河内地区の方々の合意形成等が進めば有機のさとという位置づけで団地化していく事は考えられる。来年度からふるさと財団の助成を受けて、中之又地区の再生に取組む予定である。地域で稼げる、地域で生活できるという部分で有機農業に特化していると考えられるので、国の採択に向けて今準備している。中之又地区を『有機のさと』にする方が今のところは強い。

（質疑と答弁は集約しています）



久保（くぼ） 富士子（ふじこ） 議員

就労の場の確保と取り組みは

答 ６次産業化の推進と地域内経済の循環の仕組みの確立を目指す

問 地域資源を活かし、安心して働ける就労の場の考えは。

答 町長

①町内事業者がしっかり稼いで後へ繋げて頂く。②現在誘致している企業に町内者の雇用をしっかりして頂く。③生産者には、稼げる６次産業化をやって頂く。

問 新たな付加価値を生み出す取り組みは所得向上や雇用創出にも効果をもたらすと考えるが。

答 町長

生産年齢人口・年少人口は県内２番目に高く、この強みを生かした政策を、今後行なわなければならない。

問 農林水産加工処理施設は、十年以上経過すれば転用出来るが、現在の趣旨では地域住民が誰でも使用できない。施策を転換すべきではないか。

答 町長

現在、使用者がいるので、転用については考えていない。

問 町内中心部への交流人口を増やす対策は。

答 まちづくり推進課長

集客施設を活かしながら、その波及効果・経済効果が町内に出るような取り組みを行いたい。

問 町内の歴史的資源を上手く活用し、交流人口の拡大に結びつけてはどうか。

答 町長

とても大切なこと、今後もしっかり支援をし、取り組みも行いたい。

地域住民の交流の場所である居場所づくりについて

問 町民が安心して過ごせる居場所の提供や取り組みは。

答 町長

現在、公民館を中心とした居場所づくりの検討を行っている。

答 福祉保健課長

今年度は、地域課題の整理と地域ごとの把握・分析を進めている。今後は、事業化に向けて新たなサービスの創出・地域福祉担い手の養成、そして活動できる場所の提供等を通して事業の拡大・充実を図っていきたい。

問 公民館で認知症カフェを開催しているが、交通手段がない高齢者は参加したくても出来ない現状がある。「あおばと号」の乗降場所に指定することはできないか。

答 まちづくり推進課長

民間の公共交通との共存、利用においては最低限の生活に付随する取り組みとして実施しているので一番近い指定乗降場所を活用してもらいたい。

問 各地域に配置された相談協力員の活動内容は。

答 福祉保健課長

今年度、専門的知識を有する８名に委嘱。民生委員・児童委員と協働して各地域で活動してもらう。今後、活動の幅を広げて、地域情報の把握・地域実態に対する意見交換会を進めて行きたい。

災害時の取り組みについて

問 防災食の配布についての基準の対応マニュアルは。

答 総務財政課長

避難所職員の判断で必要なら対策本部に連絡して使ってもらう。連絡が取れない場合は、職員の判断で使えるように説明している。

問 高齢者への配慮として、段ボールベッドや寝具用マットの備蓄が必要ではないか。また町民への十分な情報提供の方法は。

答 総務財政課長

段ボールベッドの使用判断は長期的な避難生活になった時で、高齢者等の支援目的で60床分備蓄してある。コミュニティ通信システム受信機をラジオ付きに更新していくことを考えている。職員からの情報だけでなく、個々人、知りたい最新情報が取れるような対応について考えていきたい。

一般質問

（質疑と答弁は集約しています）

木城っ子の活動写真

令和４年は新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、創意工夫によりたくさんの行事が行われました。
コロナに負けない子どもたちの様子をご紹介します。

どんぐり保育園







めばえ保育園







木城小学校持久走大会







のゆり幼児園







児湯郡町村対抗駅伝競走大会





まちの話題
Town-Topics





修学旅行（関東地方）の様子













議会傍聴メーター

2021年４月議会から
議会傍聴に来られた人数です。

114

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、『コロナ禍に負けず』平和で、素晴らしい飛躍の一年となりますように心からお祈り申し上げます。

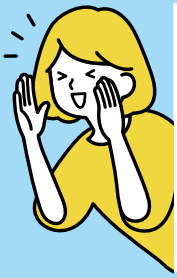
今年も、皆様のご指導とご支援を賜り、議会報の発行により議会活動を多くの皆様に理解して頂くように精一杯努力をして参ります。

編集委員
委員長　森　伸夫
副委員長　久保富士子
委員　桑原　勝広
委員　後藤　和実

発行責任者
議長　中武　良雄

議会傍聴をしてみませんか？

次の議会定例会は **3**月です。
定例会の日程、傍聴などについてのお問い合わせは、
議会事務局までお尋ねください。
TEL.0983-32 - 2213（直通）



木城町ホームページに議会情報を掲載しています。

本会議情報や、議会のしくみ、会議録などをご覧いただけます。
〈URL〉http://www.town.kijo.lg.jp